

# 多様な教育課題に対する体制づくり ～一人一人のニーズに応じた支援に向けて～

- ◆ 新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むために、学校は「社会に開かれた教育課程」を実現することが必要です。そのためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導方法の不断の見直しによる授業改善や「カリキュラム・マネジメント」を通じた組織運営の改善のための体制整備が必要です。
- ◆ いじめ・不登校などの生活指導上の課題や特別支援教育の充実への対応など学校の抱える課題が複雑化・多様化しています。これらの課題に対し、心理や福祉等の専門性のある人材を活用するとともに、教員が子どもと向き合う時間の確保等のための体制整備が求められます。
- ◆ あきる野市教育基本計画（第2次計画）の三つの重要施策を確実に推進していくための課題について、学校を取り巻く組織面から整理してみました。

## I いじめ・不登校0（ゼロ）への挑戦

**課題：地域や子どもの実態に応じた支援体制の強化**

**現 状**  
 不登校児童・生徒数（平成28年度3月末）  
 全校61人（中 52人、小 9人）  
 適応指導教室（せせらぎ教室）に通室している児童・生徒数  
 全校27人（中 24人、小 3人）  
 教育相談所相談数  
 延べ1691件（秋川 1355件 五日市 336件）

◎適応指導教室（せせらぎ教室）の機能の充実を図る必要がある。  
 ◎教育相談体制の強化を図る必要がある。

## II 学力向上対策の強化

**課題：教員の研修体制の一層の充実**

**現 状**  
 若手教員の割合の増加  
 全正規教員数 約400人  
 本市が東京都初任校教員 約100人  
 特別支援教室担当教員の増加に伴う（専門性）  
 平成28年度 巡回指導教員数 9人  
 平成29年度 巡回指導教員数 15人

◎若手教員育成研修の充実を図っていく必要がある。  
 ◎巡回指導教員育成研修を充実していく必要がある。

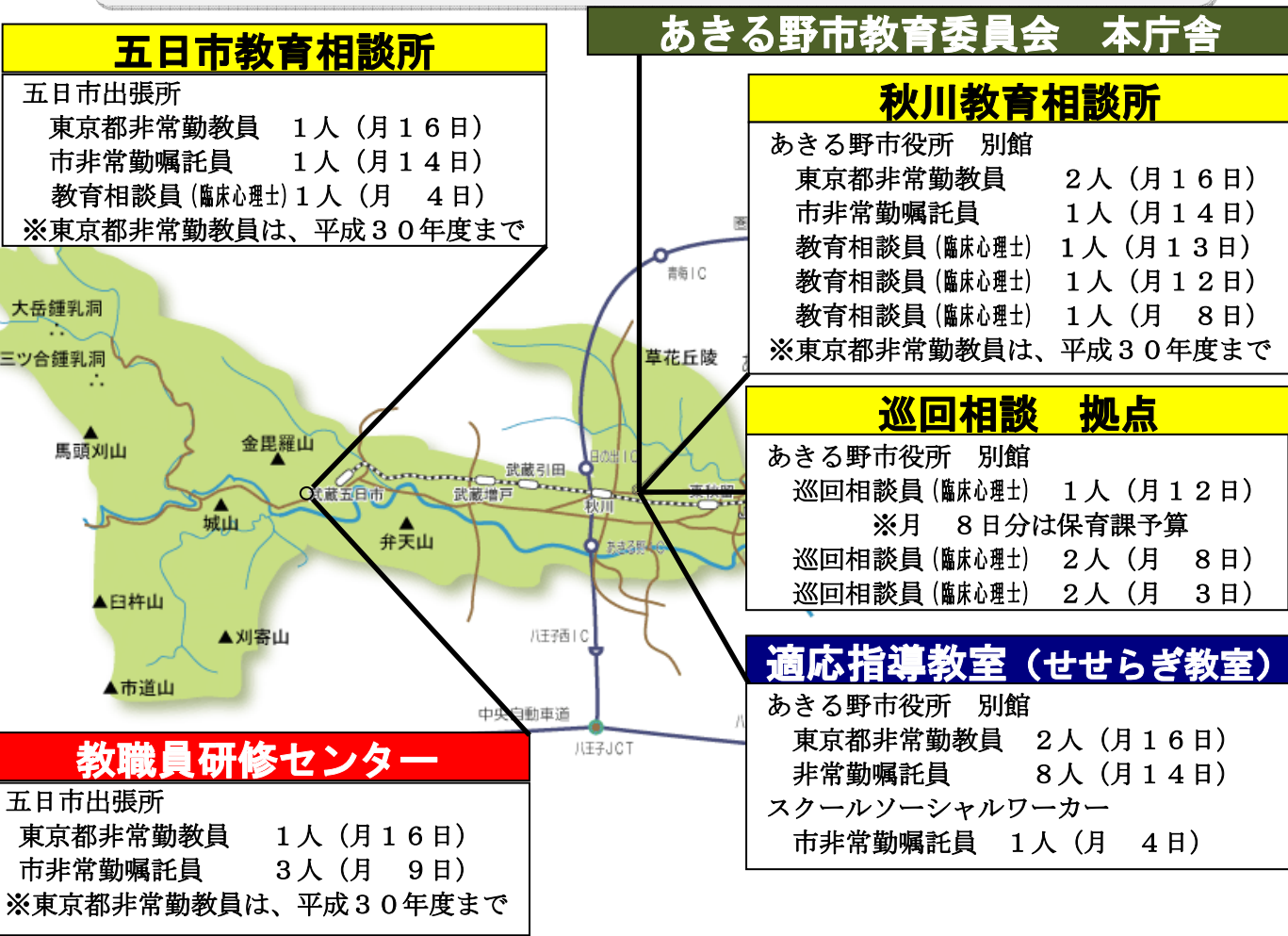
## III 特別支援教育の推進

**課題：特別な支援を要する子どもの早期発見・早期対応**

**現 状**  
 巡回相談を実施（平成28年度の実績）  
 小・中学校の巡回相談 93回 559人  
 幼・保育所の巡回相談 93回 404人  
 幼稚園・保育所における加配申請（障害児認定）  
 東京都の助成を受けるために、幼稚園・保育所から臨床心理士の検査結果報告書の作成が今まで以上に要請される。

◎幼稚園・保育所へ専門に巡回相談する必要がある。  
 ◎発達検査実施の依頼数の増加への対応が必要である。

### 現行の組織体制



### 課題解決に向けた組織体制

